

# さくらぎ

No. 24

( 桐生市立桜木中学校 学校だより ) 平成29年 3月24日

**修了式 式辞** 最終号

( 3月24日実施 )

## 一年間を振り返り、来たる平成29年度にそなえよう 「 幸せ 」とは？

皆さん、おはようございます。先日の卒業式では、式場の準備にかかわった二年生、校舎内外の清掃にかかわった一年生の皆さん、ありがとうございました。おかげさまで立派な卒業式ができました。校歌や式歌の素晴らしさも含めて、卒業生も感謝していました。また、先輩の晴れ姿に接し、参列した皆さんの態度も立派でした。皆さんの温かい気持ちが十分に伝わったよい卒業式であったと思います。

さて、今日で今年度の学業が修了します。

一年の最後に、人の「**幸せ**」ということについて話します。

人は誰しも幸せになることを願っています。その幸せの形は人それぞれ異なると思いますが、「幸せには三つの受けとめ方がある」と言われた方がいます。

一つ目の幸せは「**してもらう幸せ**」です。小さい頃、優しく抱っこしてもらったり、あやしてもらったり、誰かから「してもらおう」と幸せな気持ちになります。

二つ目の幸せは「**できるようになる幸せ**」です。テストの点が上がった。部活動で顧問の先生にほめられたなど、今までできなかったことができるようになると、うれしくてとても幸せな気持ちになります。これが「できるようになる幸せ」です。

そして、三つ目は「**してあげる幸せ**」です。家族に何か頼まれてそれをやってあげると喜ばれます。友だちが困っているときに手助けしてあげると喜ばれます。このように自分がしてあげたことによって人が喜ぶ。そのうれしそうな顔を見て、自分もまた幸せを感じる。これが「してあげる幸せ」です。

「人の道」と言う、卒業生の残した詩があります。読んでみます。

「 家族を思う心 先人を敬う心 弱いものをいたわる心  
己に打ち克つ心 利害損得に流されず まっすぐに生きる人の道  
一途に 誠実に ただひたすら まっすぐに  
人は人のために生きてこそ人という  
時を越え 天地に恥じることなく 公明正大に 生きていく 」

「人は人のために生きてこそ人という」卒業生の残した言葉に、あらためて「人のために生きる、そのことを幸せとする人生」の意義を感じます。それは、先ほど話した「幸せの三つの受けとめ方」の三つ目の「**してあげる幸せ**」につながるものでもあります。一年の終わりにあたり、皆さんも幸せということ、そ

して人としての生き方を考えてみてください。

明日から春休みとなります。皆さんが一つ上の「先輩」になるための準備としてある日でもあります。有意義に過ごしてください。

それでは、四月七日に、元気な姿を見せてください。終わります。

## 群馬県中体連ソフトテニス地区別強化練習会

(3月4日実施)

1年生男子の部 ダブルス 第3位 新藤 瑠斗(1年) 中村 圭太(1年)

## 第40回桐生市ジュニアバドミントン大会第7回亀里杯

(3月4日実施)

女子シングルス 第3位 金子 由奈(1年)

## 桐生バスケットボール協会 第10回蛭間貞夫杯

(3月12日実施)

女子 第3位	御山 智世(2年)	新井 愛叶(2年)	関谷 優月(2年)
	中山 真愛(2年)	新井 瑠々花(2年)	丹羽 楓(2年)
	野村 華佳(2年)	二宮 未来(2年)	田村 花月(1年)
	林 望愛(1年)	馬場 泉(1年)	井手 陽音(1年)
	山部 珠夢(1年)	星野 璃音(1年)	高松 奏衣(1年)

## 二年生球技大会

(3月21日実施)



(バレーボール)



(バスケットボール)



(おまけ)



(雨天のため、外の種目はできませんでした。) (いじめ防止子ども会議より)

## 第30回都道府県対抗 ジュニアバスケットボール大会2017出場

(3月28・29・30日実施)

林 望愛(1年) 星野 璃音(1年)

## 校長のつぶやき

3月16日(木)に、1・2学年の保護者会が開催され、本年度の保護者会が全て終了しました。

保護者の皆さまにおかれましては、一年間、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。教職員一同、心から感謝申し上げます。

来年度も子どもたちがそれぞれの良さを伸ばしていけるように、教職員一同一丸となって頑張っていきたいと思っております。

お世話になりました。